

大阪・関西万博後の関西 3 空港

2025年11月6日

航空営業本部 エアロコマーシャル部

Shaping a New Journey



関西エアポート株式会社の紹介



株主構成

ORIX 40%

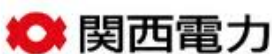


Vinci Airports 40%

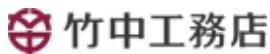


・世界13か国 70以上の空港の運営

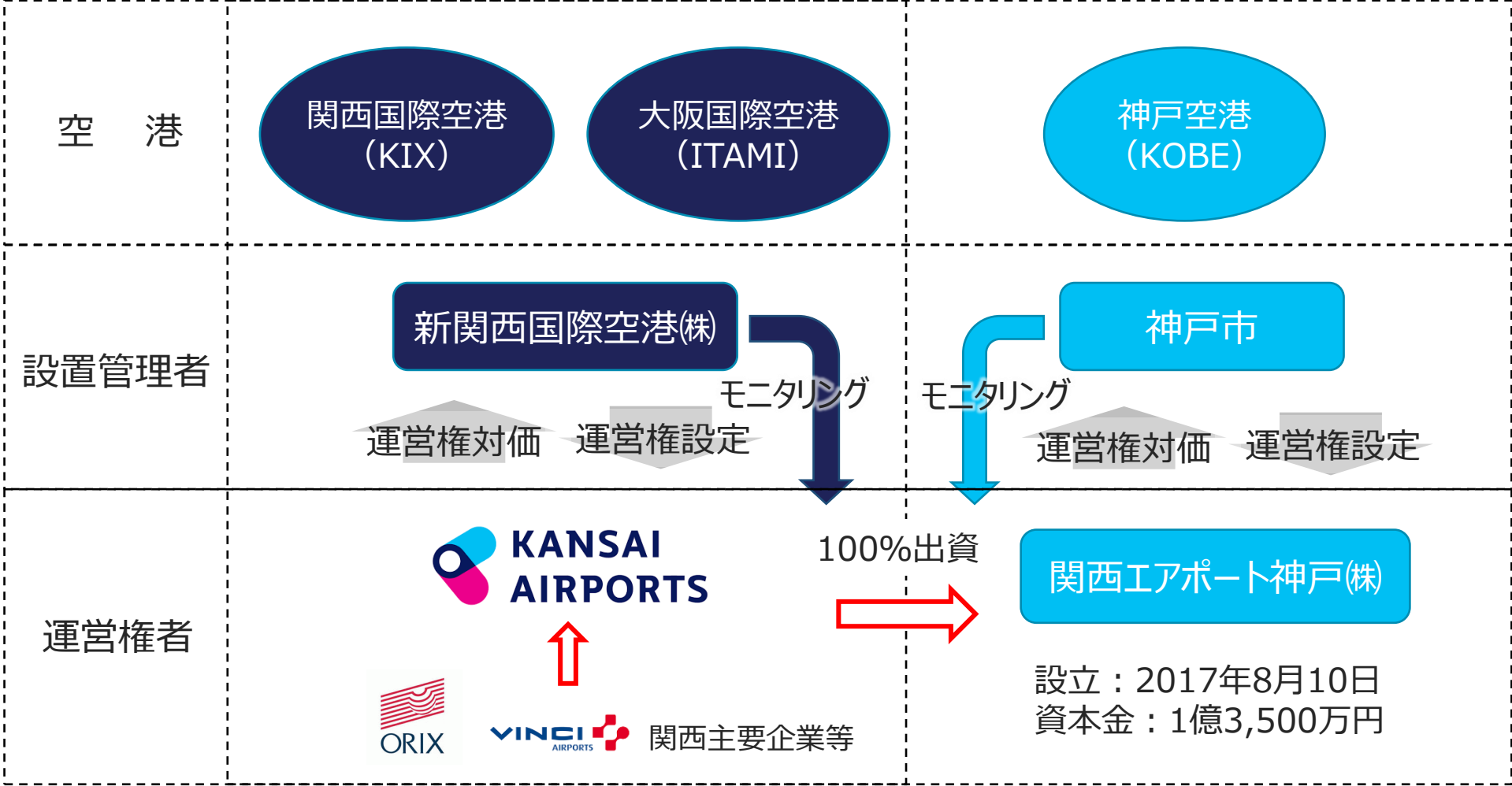
関西系企業等 20% (30企業)



阪急阪神ホールディングス



コンセッションの構造



関西 3 空港の紹介



神戸空港

- ・旅客数 361万人 (329万人)
- ・発着回数 3.3万回 (3.3万回)
- ・運用時間 16時間
- ・滑走路 2,500m



関西国際空港

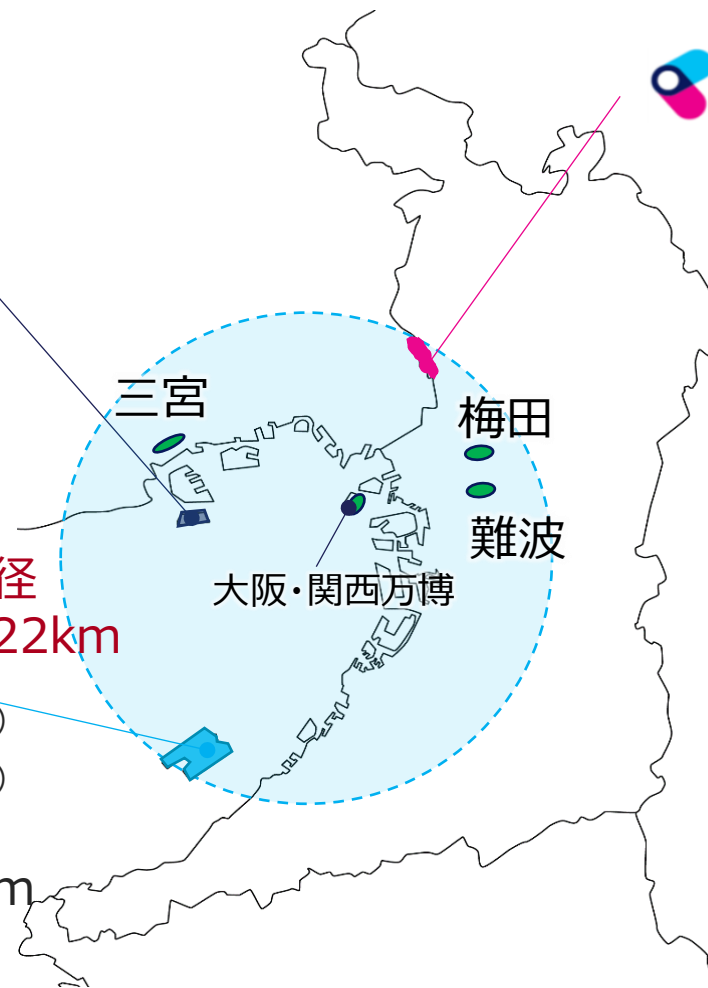
- ・旅客数 3,180万人 (2,877万人)
- ・発着回数 19.9万回 (19.6万回)
- ・運用時間 24時間
- ・滑走路 3,500m 4,000m



大阪国際空港

- ・旅客数 1,545万人 (1,577万人)
- ・発着回数 13.7万回 (13.7万回)
- ・運用時間 14時間
- ・滑走路 3,000m 1,828m

半径
約22km



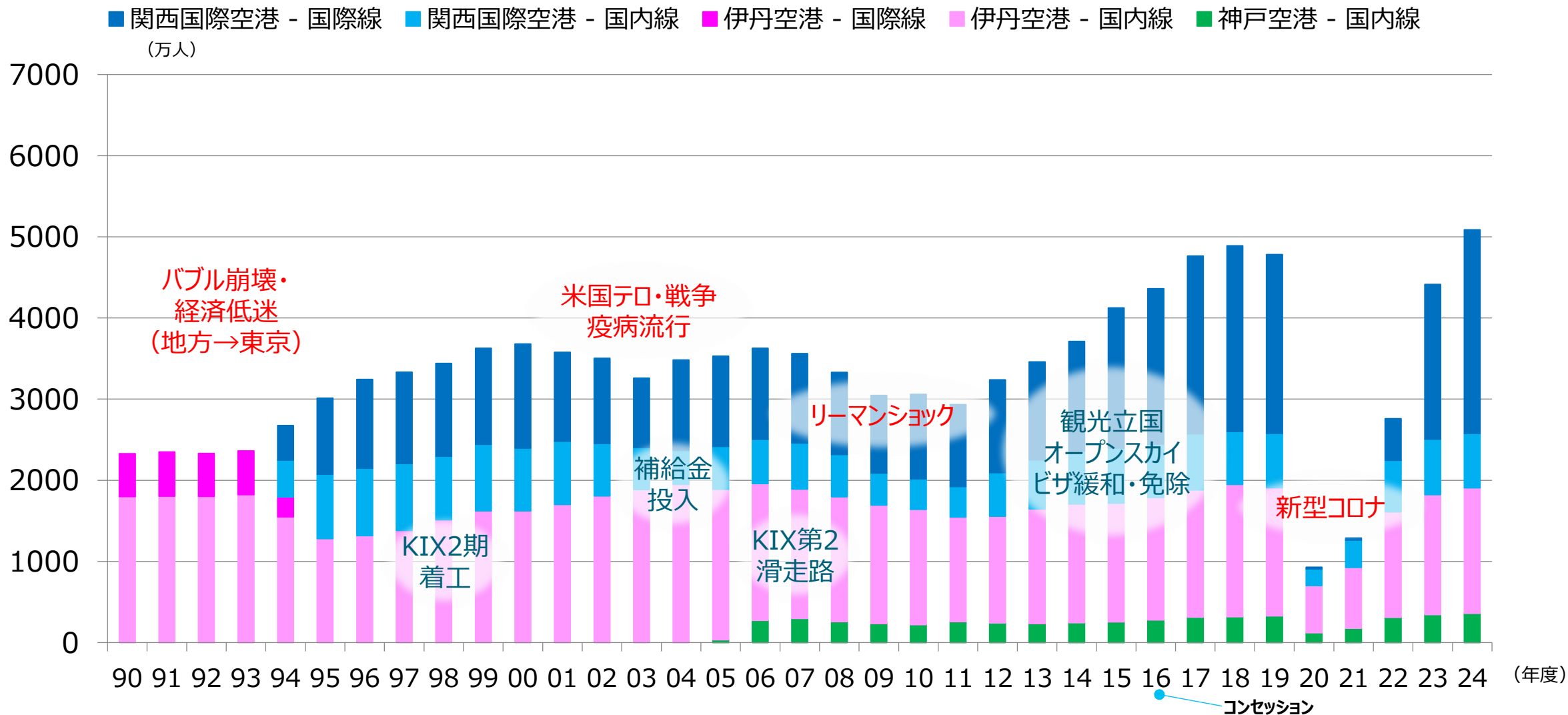
3空港

旅客数 **5,086 万人**
(4,782万人)
滑走路 **5本**

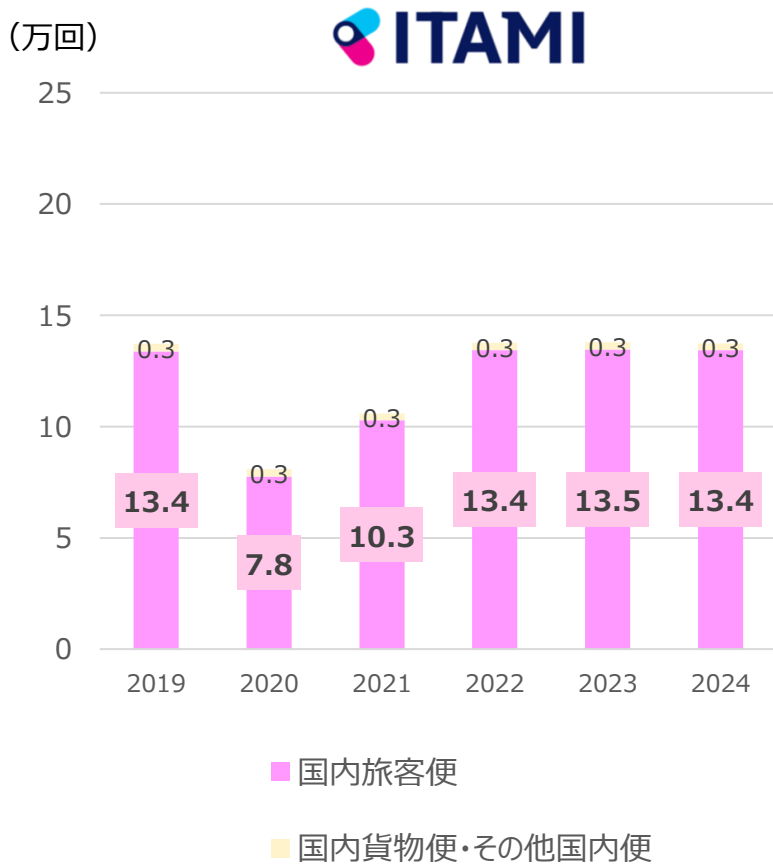
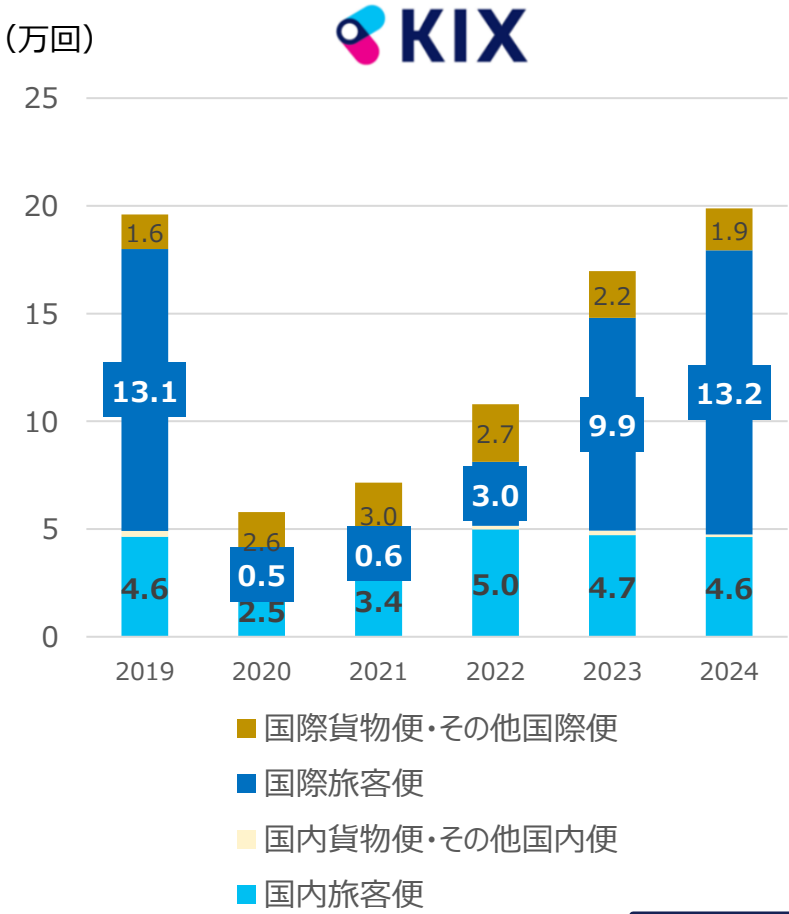
3 空港の利用状況の推移



3 空港の旅客数の推移



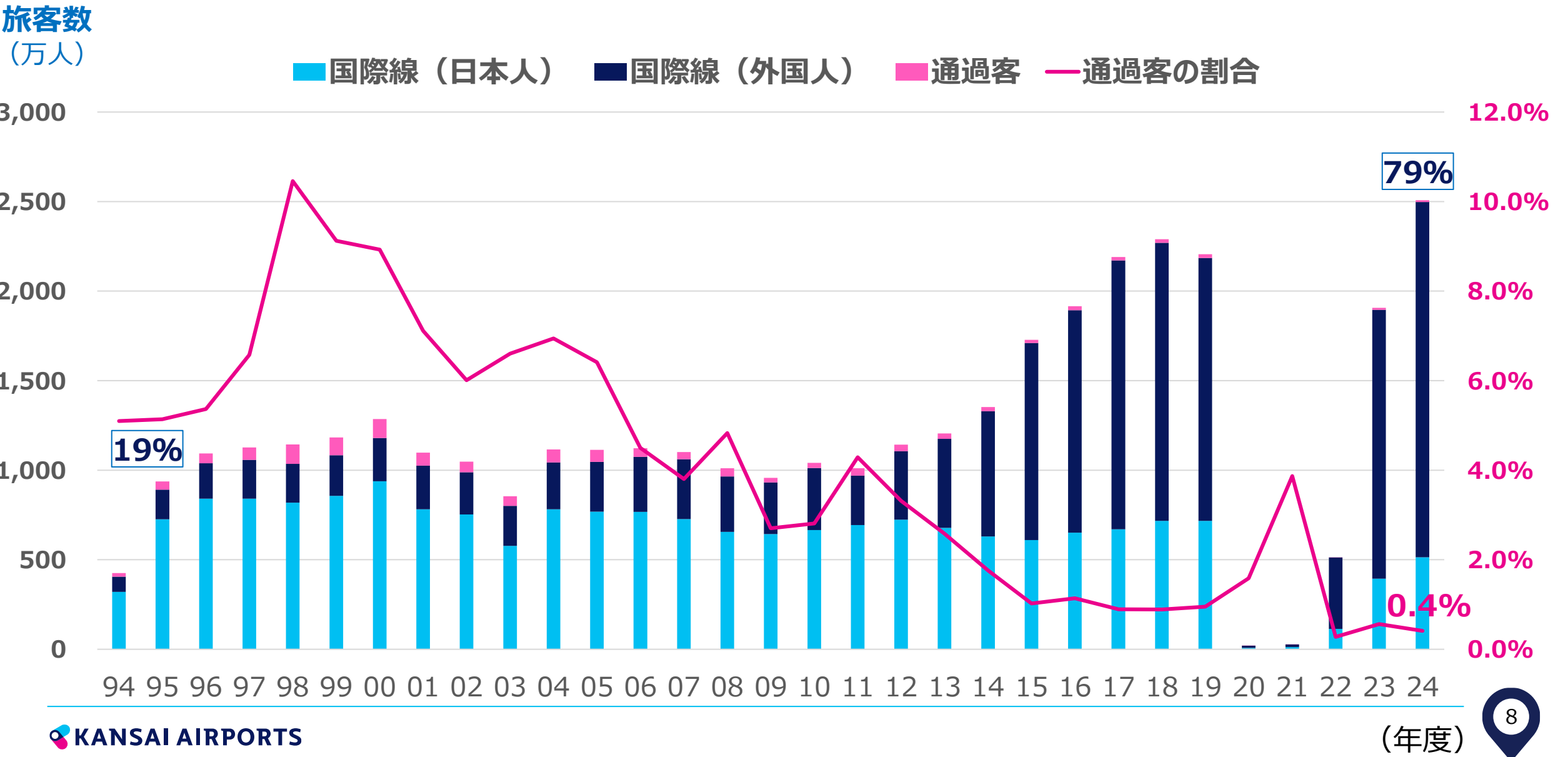
直近の発着回数の動き（年度比較）



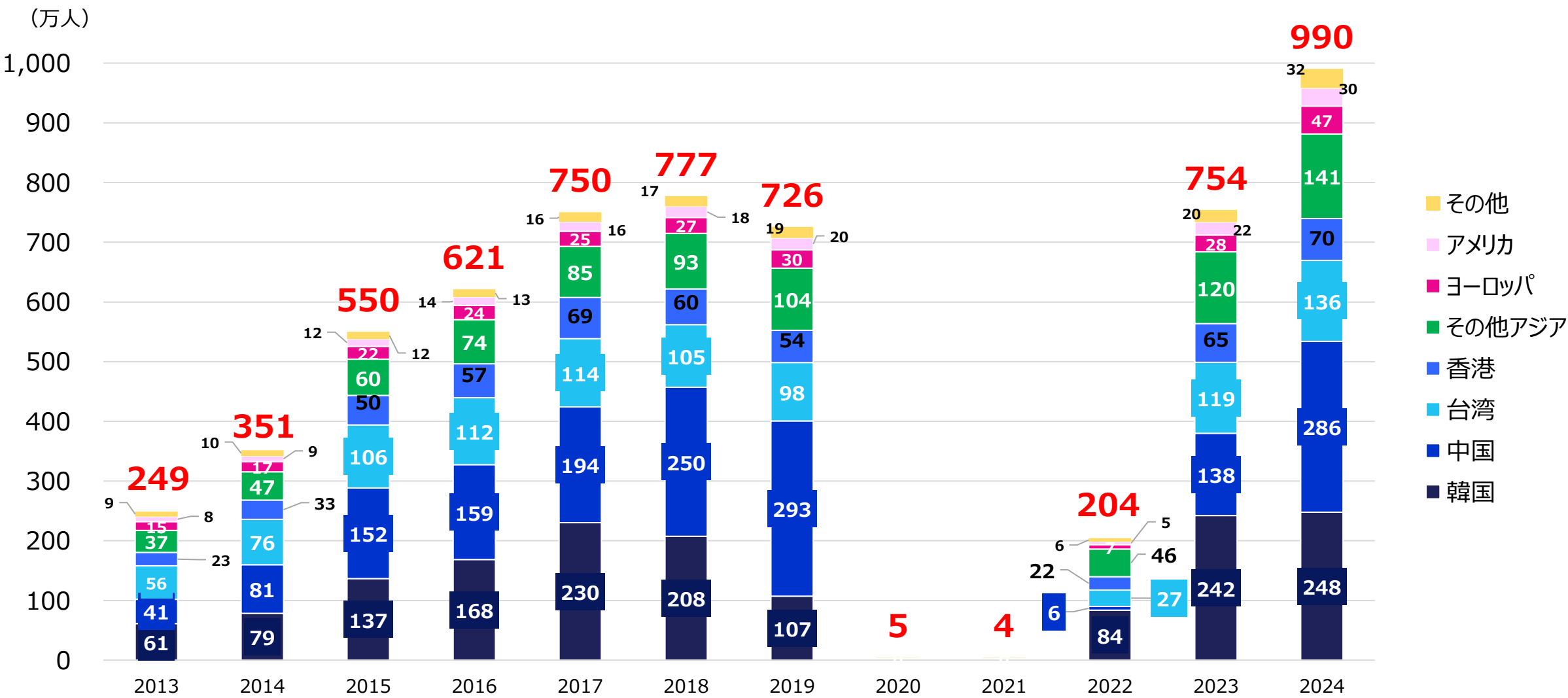
3空港合計（年度）

2019年	36.6万回	2020年	16.2万回	2021年	20.7万回
2022年	28.0万回	2023年	34.2万回	2024年	36.9万回

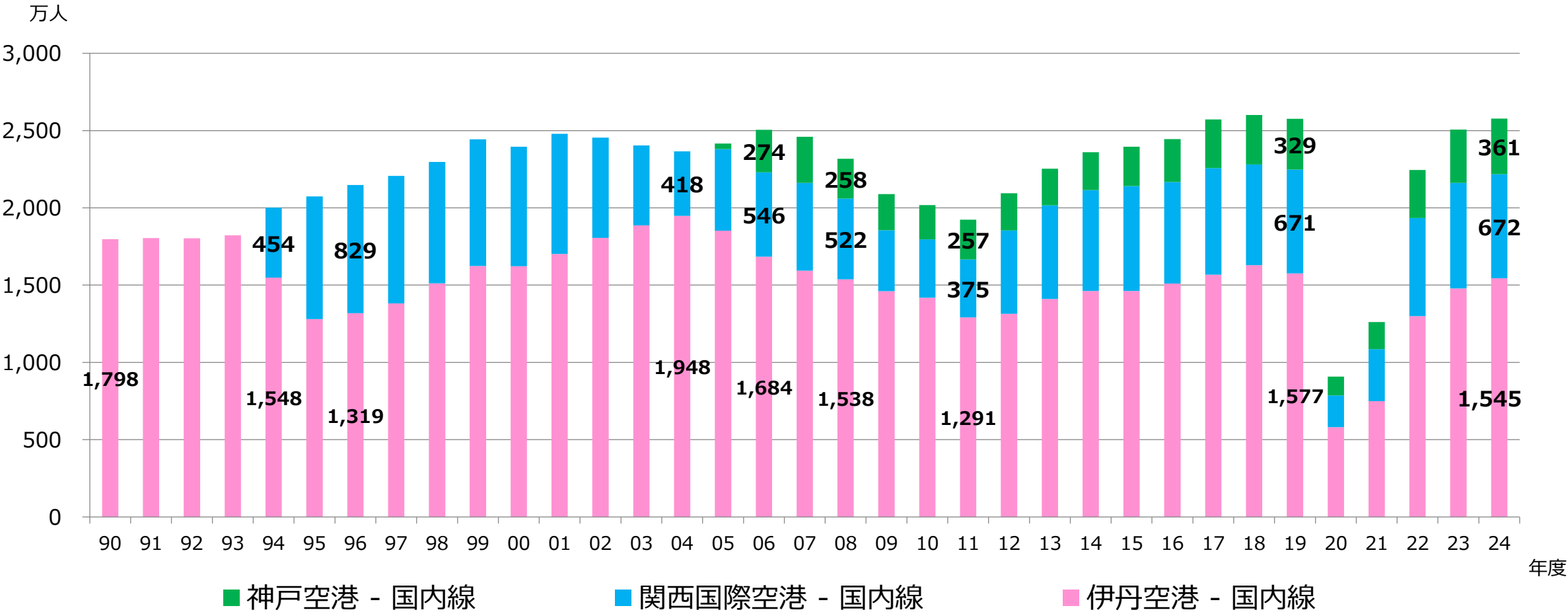
関西空港 国際線旅客数の推移



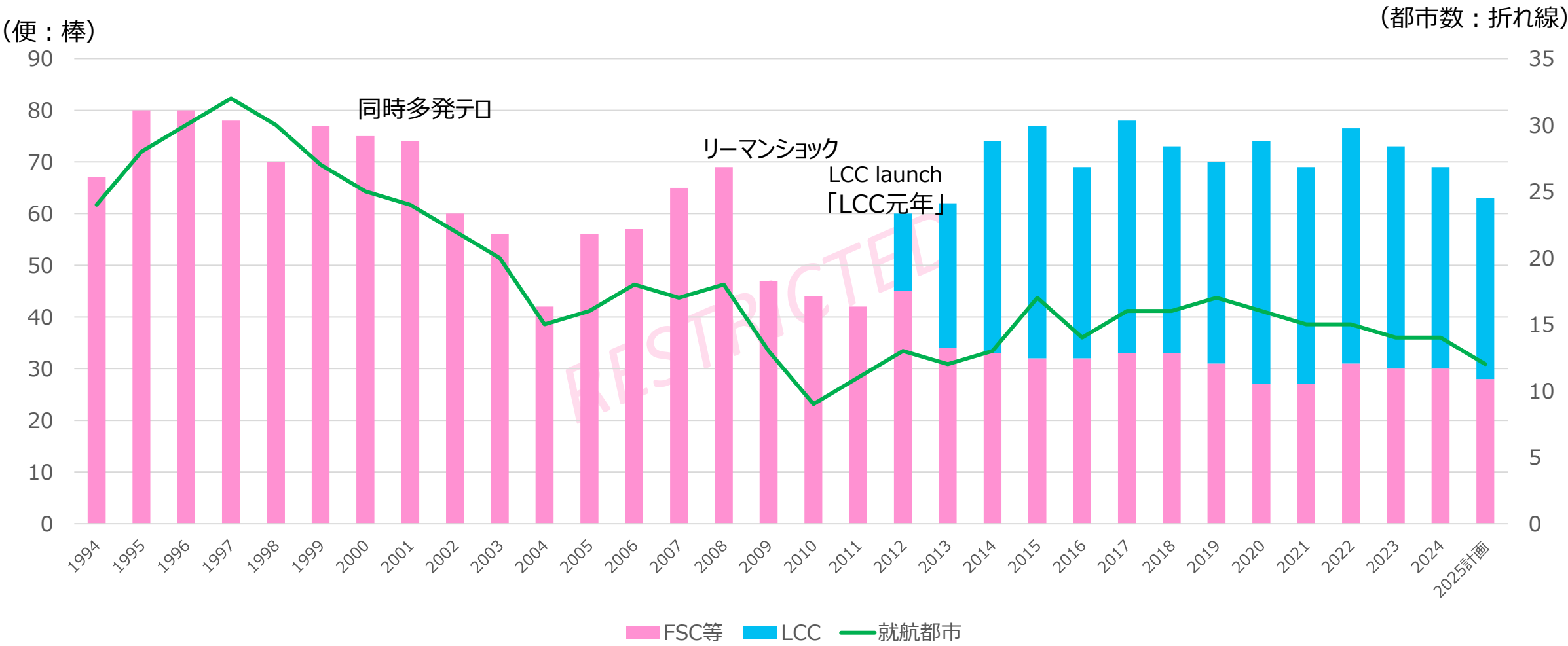
関西国際空港 入国外国人数 年度（4-3月）合計比較



3空港国内線旅客数推移



KIXにおける国内線運航便数推移（1日あたり概数/夏スケジュール）



変化する需要に対する 関西エアポートの取り組み



KIXにおける空港容量 拡張

2018年11月 2025年大阪・関西万博の開催決定

関空需要調査委員会
関西3空港懇談会*

空の再設計

- 新飛行経路の導入
↓
1時間当たりの発着回数
45 → 60回

ターミナル 再設計

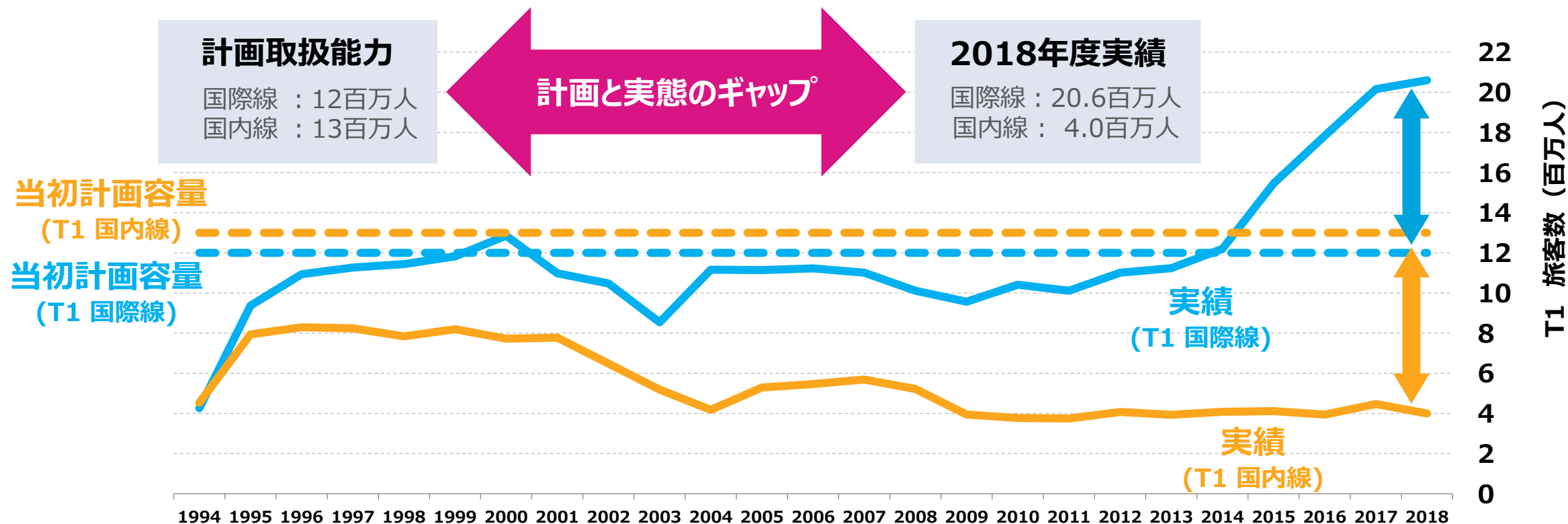
- 国際線キャパシティ拡大
↓
ターミナル1 + ターミナル2
2,300(18年度実績) → 3,500万人
→ (将来) 4000万人を目指す

2025年4月 大阪・関西万博

目標：2030年代前半
関空年間発着回数30万回

関西3空港
約50万回を目指す
(2030年前後目途)

T1リノベーション - これまでの第1ターミナルビルの運用状況



ギャップを解消し、既存のターミナルビルを最大活用

T1リノベーション - 全体概要

■ 基本コンセプト ～Terminal 1 の再設計～

国際線キャパシティ拡大

近年のインバウンド急増に対応すべく、国内線と国際線の配置を見直し、国際線を南北一体運用可能なレイアウトに見直しました。

（国際線ビル内面積 + 25%、使用可能スポット + 6 スポット）

関西国際空港全体の国際線キャパシティを**4,000万人/年**に引き上げました。

※2019年度旅客数：約2,200万人

エアサイド エリアの充実

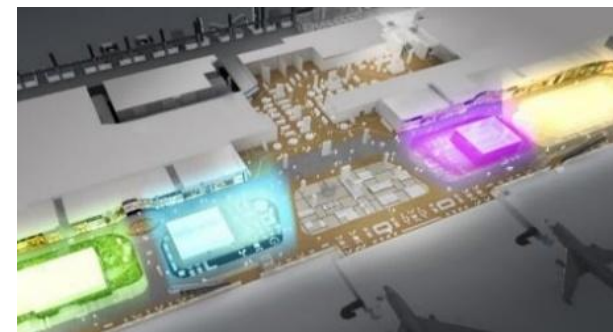
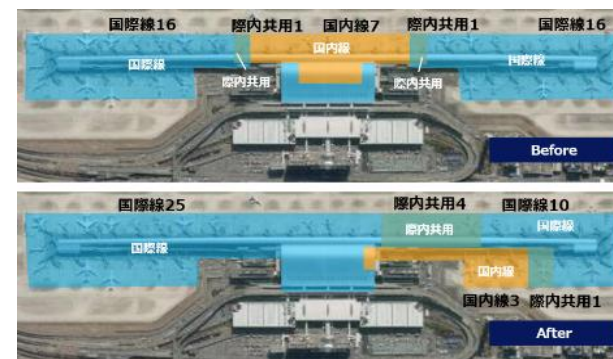
新国際線出発エリア（中央部分）の**面積を60%拡大**し、商業エリアを4つの異なる雰囲気ゾーンにゾーニング。

お客さまの気分に合わせて搭乗までの時間を過ごしていただけます。

旅客体験の 向上

スマートレーンなどファストトラベルの推進、出発エリアの拡大により、お客さまに快適な時間をより多くご提供します。

関西国際空港全体でコロナ禍前実績の約2倍となる国際線キャパシティに



T1リノベーション - スケジュール



T1リノベーション – 竣工時の写真（2025）

新 入国審査場



国際線出発エリア



新 国際線コモンラウンジ

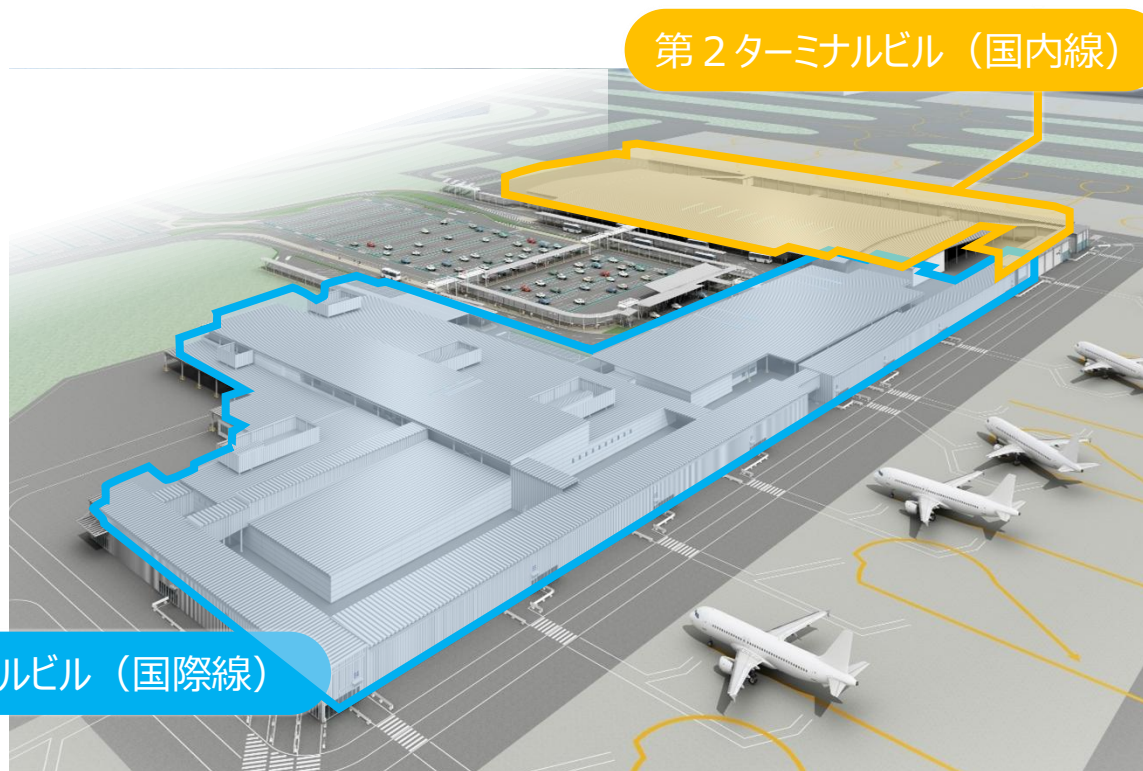


第2ターミナルビル - 国際線ターミナルの増築（2017年1月）

お客様により多くの自由時間を

- ウォークスルー型免税店
- 駐車場の再設計・バス停留所の増築
- 出国エリアにも充実したフードエリア

～快適さの追求と待ち時間短縮～



第2ターミナルビル - 国内線のリノベーション

今後の航空需要拡大に備えるため、リノベーションを実施

着工：2025年 8月

供用開始：2026年 春頃（予定）

改修箇所：関西国際空港第2ターミナル（国内線）

1. チェックインエリアの再編

自動手荷物預機導入(10 台)によるセルフ化の推進

2. 保安検査場の再編

スマートレーン(20m)の導入による処理能力の向上(1,400人/時)
面積が約1.3倍に

3. 待合・商業区画リニューアル

搭乗待合エリア約 20%拡張
店舗の移転や拡張により、クリーンエリア内の飲食エリアが約2倍に



イメージパース



T2レイアウト（現状）

大阪国際空港 – ターミナル改修プロジェクト概要

お客様に「新しい旅の体験」をご提供するという決意のもと、新しい旅と空港体験を創造

**PREMIUM
KANSAI**

親しみやすい個性・距離感

空港での滞在を、もっと快適に。
もっとわくわく感を。
飛行機に乗る方だけでなく、地域の方に
日常的にご利用いただける空港に。
もっと関西らしさ、ITAMIらしさを。

もっとワクワクする
空港

快適で便利
な空港

地域に愛される、
目的地としての空港

関西らしさを感じる
空港

大阪国際空港ターミナル改修（2018/2020）

50年ぶりの改修



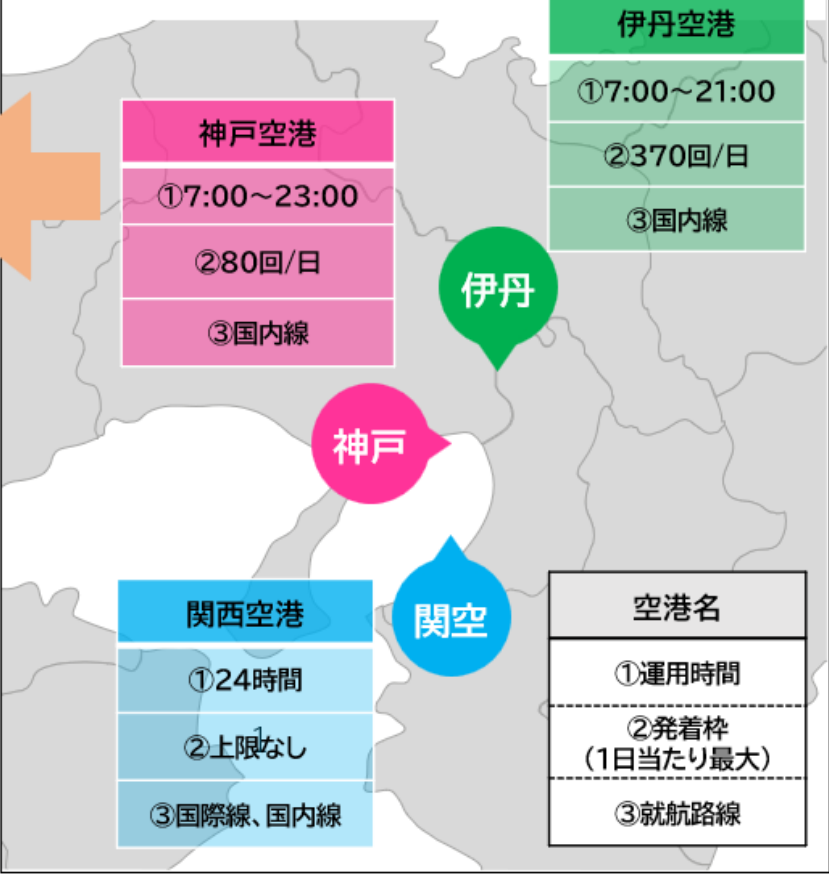
神戸空港の運用拡大（将来）

第12回関西3空港懇談会 合意内容（2022年（令和4年）9月18日）

神戸空港（2025年）
①7:00～23:00
② 国内線120回
③国内線+ 国際チャーター便

神戸空港（2030年前後）
①7:00～23:00
② 160回 （国内線120回+ 国際線40回 ）
③国内線、 国際線

関西3空港の運用状況



※神戸市作成

神戸空港



神戸空港 国際チャーター便就航状況

2025年4月18日以降、4社5都市に就航中

国・地域	都市名	航空会社名	S25期初 運航便数	W25期初* 運航予定便数
韓国	ソウル（仁川）	大韓航空	毎日 2 便	毎日2便
中国	南京	吉祥航空	毎日	週3便
	上海	吉祥航空	毎日	毎日
台湾	台北	スターラックス航空	週 3 便	週3便
		エバー航空	週 2 便	週2便
	台中	スターラックス航空	毎日	毎日

*一部例外設定日あり



大韓航空



吉祥航空



スターラックス航空



エバー航空



* 2025年冬期スケジュール開始日（10/26）より1週間

神戸空港 国際化の影響

地域の発展 ⇔ 空港の成長（育てる空港）

ひょうご経済研究所推計

年間経済効果 **約104億2,900万円**

※地域内消費・雇用創出などを含む

地域経済の
促進

神戸観光局調べ

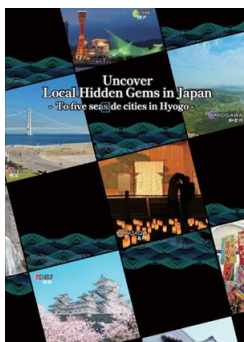
神戸市内のインバウンド延べ宿泊者数の増加

	延べ宿泊者数	前年比
4月	12.5万人泊	約1.5倍
5月	12.8万人泊	約1.2倍

観光業の
活性化

神戸商工会議所

神戸・明石・加古川・高砂・姫路の商工会議所が連携し、地域の隠れた魅力を発信するガイドマップ[°]（英語版・日本語版）を作成



神戸以西の
需要開拓

新たな航空
需要の創出

兵庫県、神戸経済同友会

8月19日～21日大韓民国におけるトッププロモーションの実施

ヴィッセル神戸

9月15日神戸空港国際線就航後初となるプロスポーツチームの海外遠征（10月には韓国にも遠征予定）

国際交流の
促進

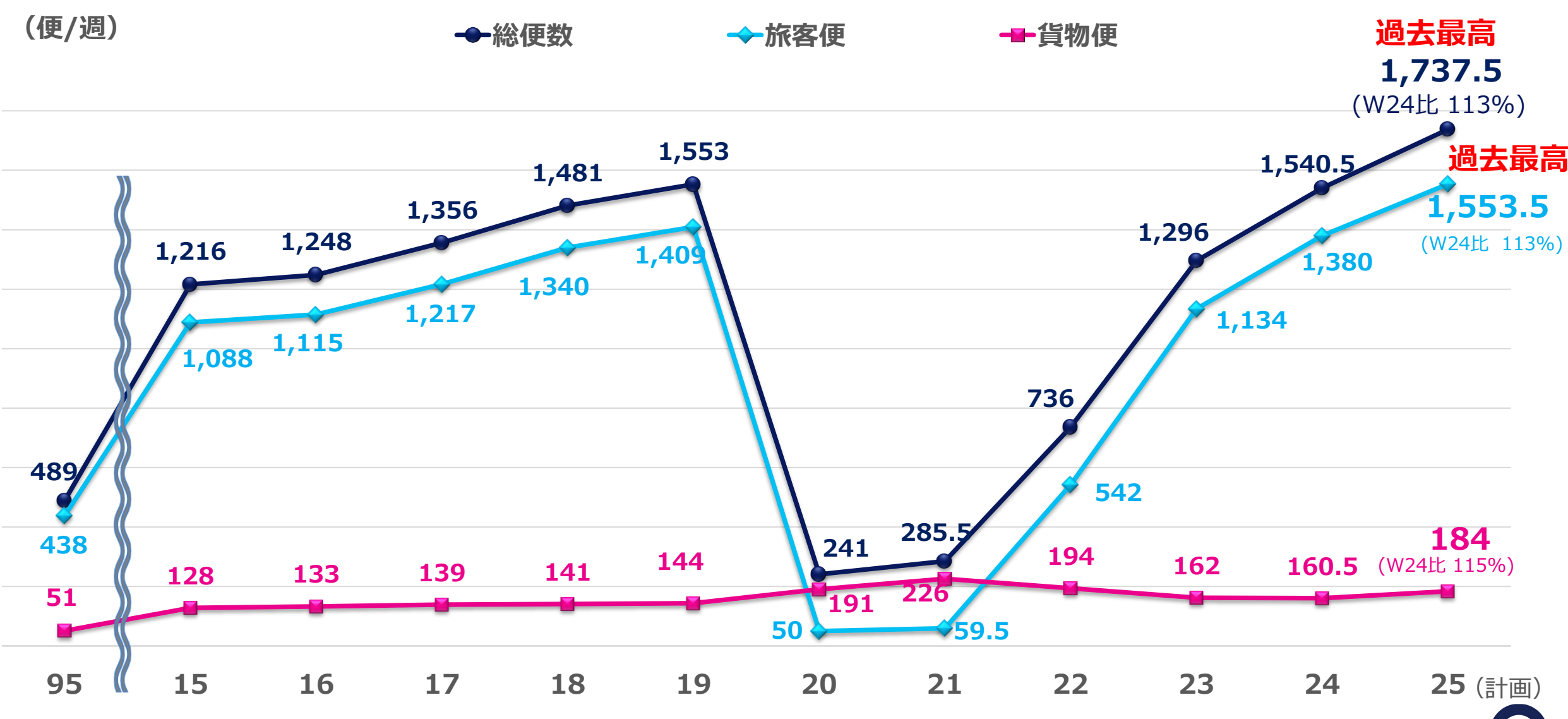
国際線利用者数
月平均 約4.8万人※



関西 3 空港の今後



KIX 2025年冬期スケジュール国際定期便 就航便数

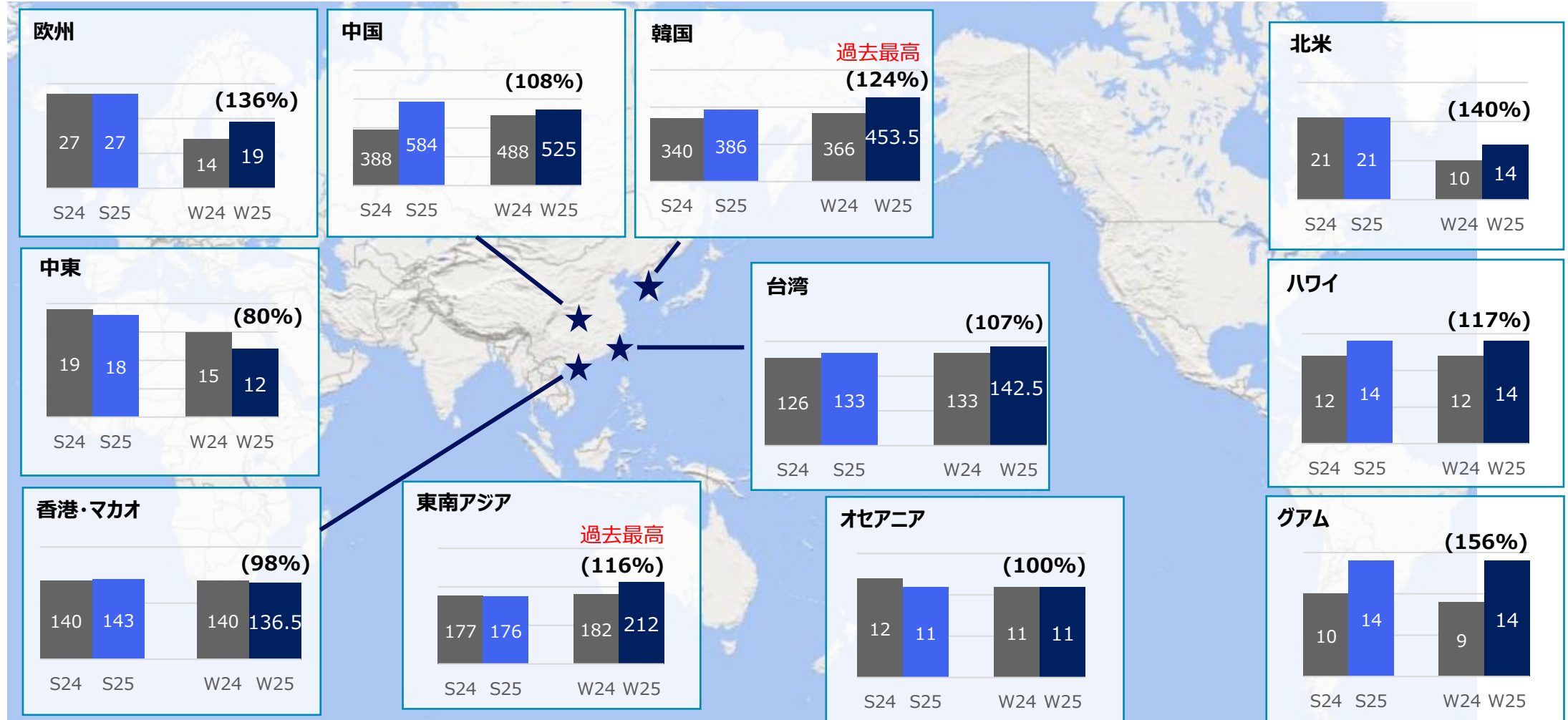


・ 各スケジュール、ピーク月の便数を記載
・ W25 は2025年冬期スケジュールピーク想定12月の計画便数

KIX 国際旅客定期便 2025年冬期スケジュール便数（国・地域別）

- ・ W25 は2025年冬期スケジュールピーク想定12月の計画便数
- ・ S25 は2025年夏期スケジュールにおける9/30現在のピーク便数（8月）
- ・ グラフ中（ ）内の数値は2024年夏期/冬期スケジュールとの同期比較

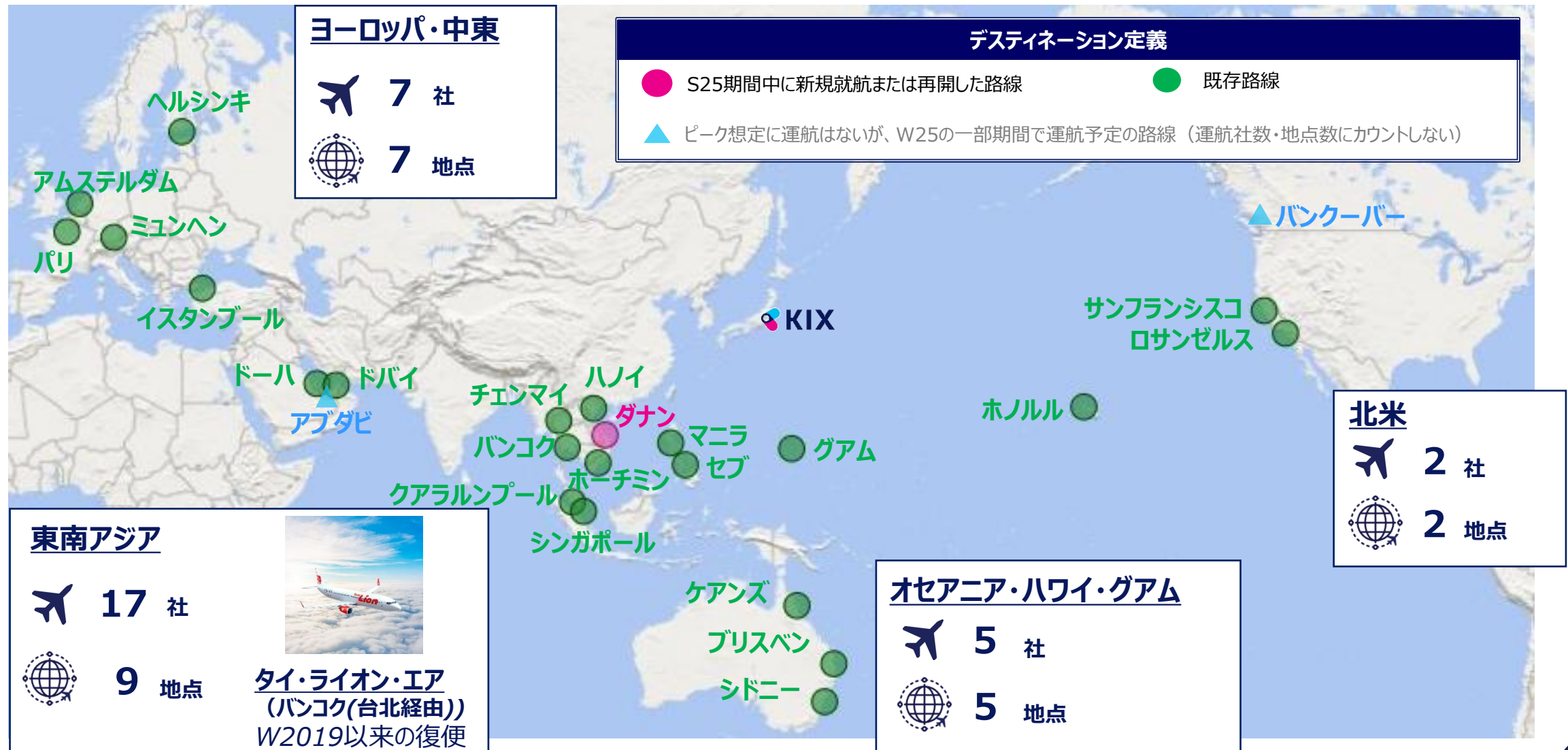
W25 :  **1,553.5便** (W24比**113%**)  **62社**  **63地点** S25 : 1,529便 65社 68地点



KIX 国際旅客定期便 国・地域別国際線ネットワーク

(ヨーロッパ・中東・北米・オセアニア・東南アジア)

・ 数値はピーク想定12月時点のもの



KIX 国際旅客定期便 国・地域別国際線ネットワーク (アジア地域)

・ 数値はピーク想定12月時点のもの

デスティネーション定義

- S25期間中に新規就航または再開した路線 ● 既存路線

中国

✈ 19 社
🌐 31 地点

香港・マカオ

✈ 6 社
🌐 2 地点



韓国

✈ 10 社
🌐 5 地点

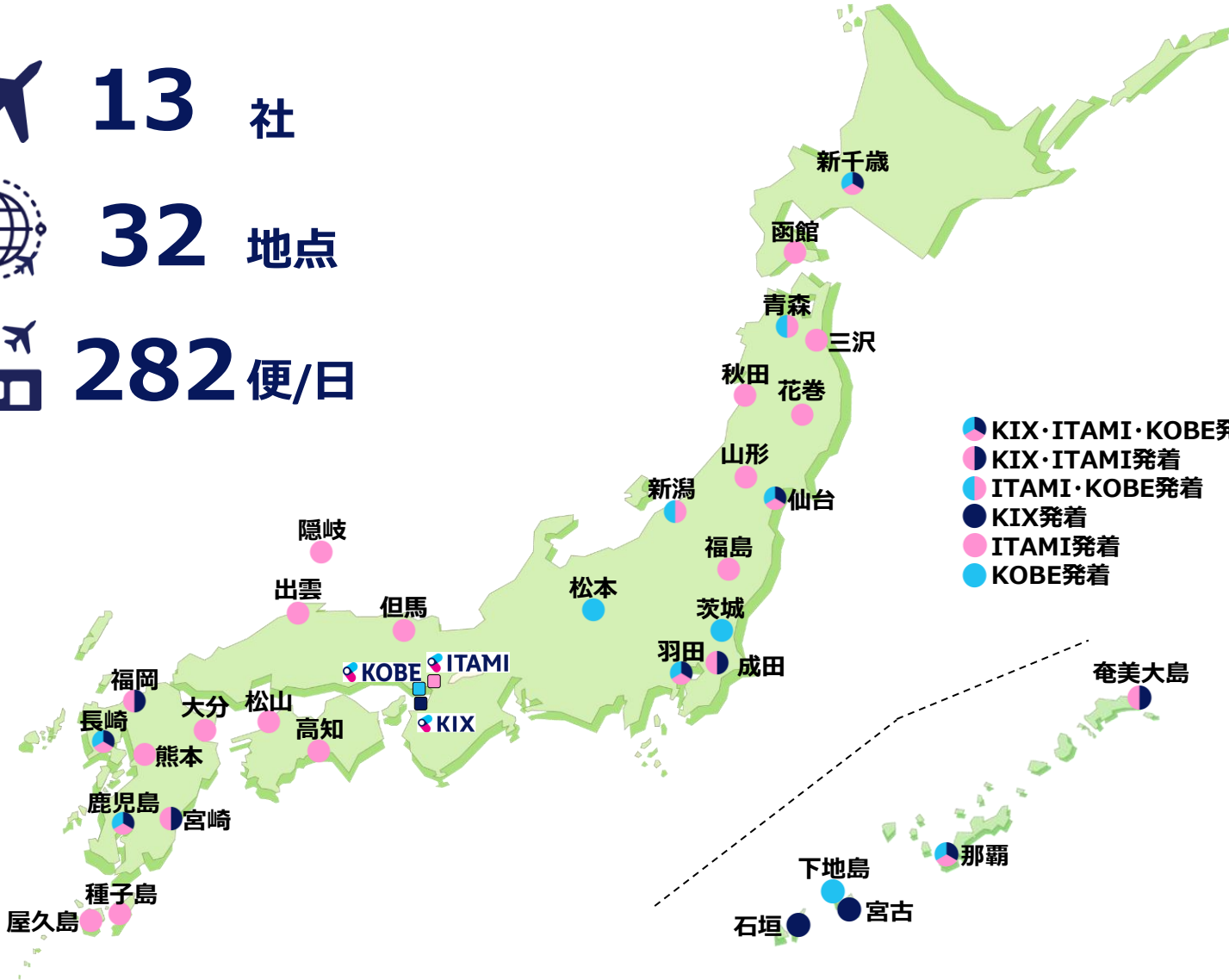
台湾

✈ 6 社
🌐 2 地点

国内旅客定期便 国内線ネットワーク (2025年冬期スケジュール)

・ 数値はピーク想定1月時点のもの
・ 臨時便を除く。

 **13 社**
 **32 地点**
 **282 便/日**



- KIX・ITAMI・KOBE発着
- KIX・ITAMI発着
- ITAMI・KOBE発着
- KIX発着
- ITAMI発着
- KOBE発着

 **KIX** **6社 12地点 58便/日**

- ・ スターフライヤー 
- ・ ジェットスター・ ジャパン 
- ・ 日本航空 
- ・ ピーチアビエーション 
- ・ 全日本空輸 
- ・ 日本トランスオーシャン航空 

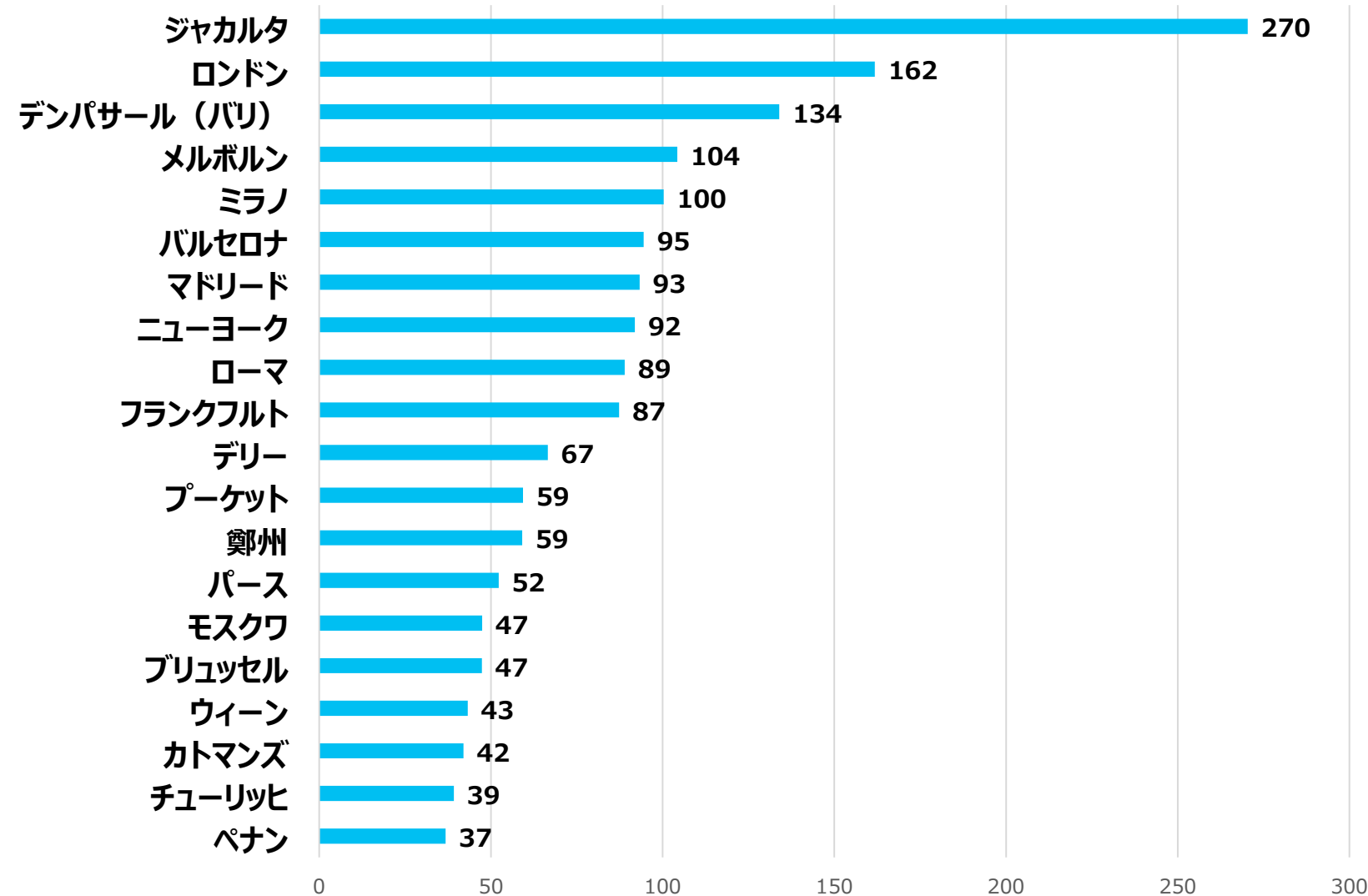
 **ITAMI** **4社 27地点 185便/日**

- ・ IBEXエアラインズ 
- ・ 日本航空 
- ・ 天草エアライン 
- ・ 全日本空輸 

 **KOBE** **6社 11地点 39便/日**

- ・ ソラシドエア 
- ・ スカイマーク 
- ・ トキエア 
- ・ AIRDO 
- ・ フジドリームエアラインズ 
- ・ 全日本空輸 

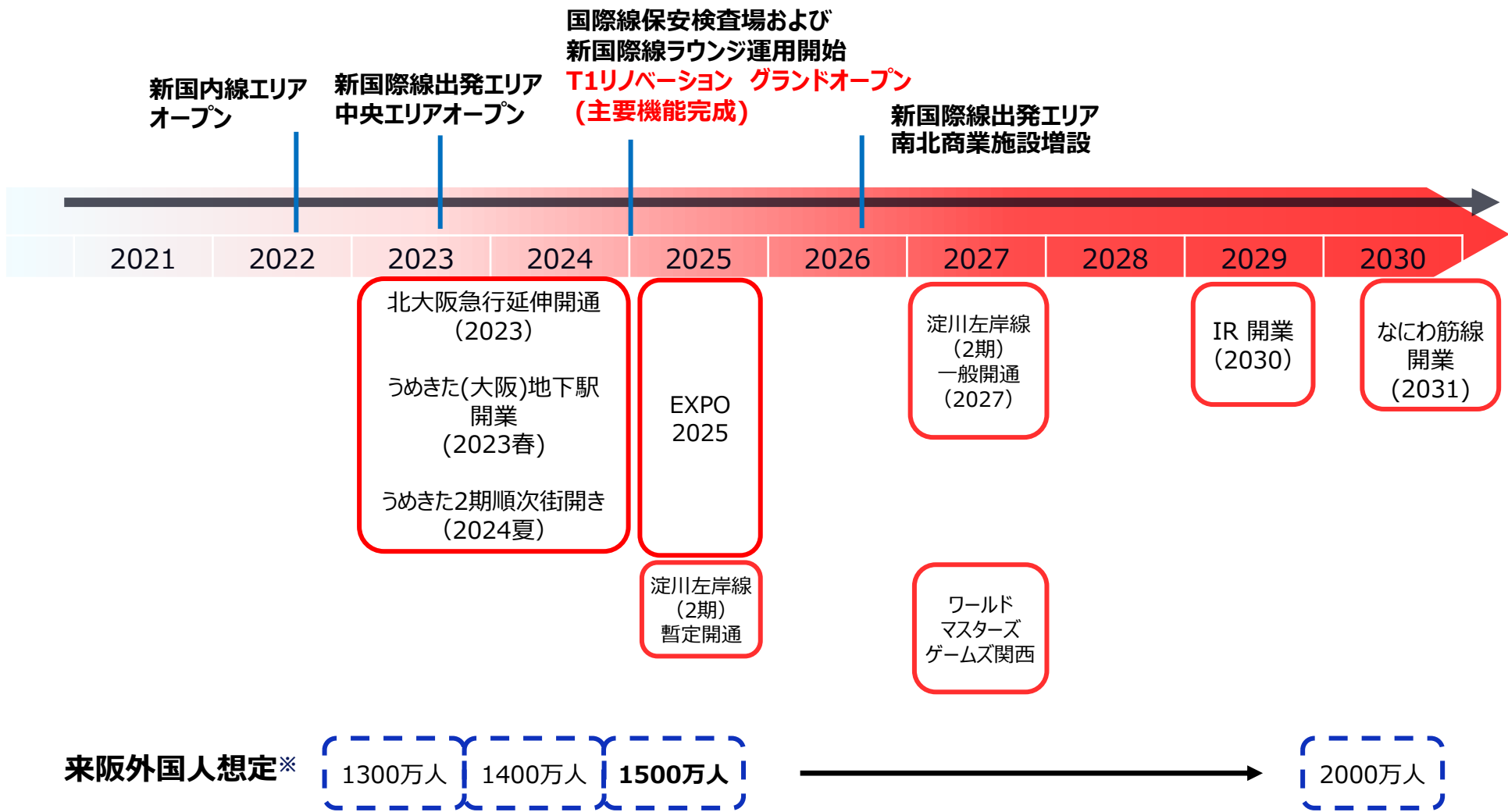
関西未就航地における 1 日平均の旅客流動（TOP20）



1日平均※の流動（片道）

※2024年8月～2025年7月のデータ
※3空港合計
※データ元：Airport IS

来阪外国人と今後の主要なイベント



関西3空港の今後

大阪・関西万博で得られた 国内外からの注目度・需要拡大の流れ

新規航空会社誘致
新規路線の誘致

既存路線の拡大

国内線へのインバウンド
旅客取込

マーケティング活動

3 空港の成長を「関西」のまちの成長につなげる

